

顔面の赤みと腫れから 8 か月で皮膚・鼻症状が落ち着いた成人アトピーの経過 (38 歳 女性)

症例 ID：001-30-TMi | 記録日：2002 年 8 月 30 日

1. 診断・治療前経過

小児期から喘息、蕁麻疹、アトピー、鼻炎、結膜炎を経験しました。成人後は首、肘、膝などに軽い症状が出るたび、皮膚科で治療していました。

37 歳頃の 2 月から顔全体の乾燥、赤み、腫れが強くなり、外用薬と内服薬を続けても悪化しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	症状が出るたびにステロイド外用薬を使用し、顔面症状には抗アレルギー薬も使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小児期から 37 歳頃まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
11 月	治療開始	漢方入浴、煎じ薬などを開始しました。
2～10 日後	初期変化	腹部の赤斑、顔面腫脹、頸部のかゆみがみられました。
2～4 週間後	ピーク	眼周囲と顔が赤く腫れ、夜間に顔から首を掻く状態が続きました。
1～2 か月後	改善傾向	顔の腫れと赤みが減り、四肢・背部の皮膚が滑らかになりました。
3 か月後	皮膚変化	頸部の軽い乾燥を除き、アトピー症状はほとんどみられなくなりました。
5～6 か月後	鼻症状治療	季節性鼻炎の治療へ移行し、約 3 週間で鼻閉が軽減しました。
8 か月後	経過後	皮膚状態と鼻症状が落ち着いていました。

4. ピーク時期

ピークは、治療 2～4 週間後に眼周囲と顔全体が赤く腫れ、頸部のかゆみと掻破が強かった時期です。

5. 困りごと

- 朝夕に長時間の漢方入浴を続ける負担がありました。
- 顔面の腫れと頸部のかゆみが仕事の多忙時に強くなりました。

6. 経過のまとめ

治療 3 か月後には頸部の軽い乾燥を残すのみとなり、6 か月後には顔と体のかゆみがみられなくなりました。

8 か月後も皮膚と鼻の状態は落ち着いていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。